

## 令和2年4月臨時会報告

令和2年4月28日に新型コロナウイルス感染症緊急対策の補正予算を主に議論する臨時会が開かれました

補正予算の内容は、感染予防の防止・市民生活の安定・市内経済の下支えのための予算が編成されました。

補正予算額は、175億3809万3千円で、歳入の主なものは、国から168億1505万5千円、市の基金からの繰入金で8億1000万円です。歳出の主なものは、次のとおりです。

### ◎国庫補助金による施策

- 1 特別定額給付金（事務費を含む） 165億3616万4千円

市民一人当たり10万円が給付されるもので、市からののがきにより通知があり、マイナンバーカードを持っている人は5月18日から、それ以外の人は5月25日から申し込みができ、随時、指定の口座に現金が振り込まれるということであった。

- 2 子育て世帯臨時特別給付金（事務費等含む） 2億931万2千円

令和2年4月分の児童手当を受給する世帯に対し1万円を追加給付するもので、市から通知をするということであった。

- 3 住居確保給付金の支給対象の拡充 940万5千円

離職等で住居喪失者又は住居喪失のおそれのある人のために支給対象を拡充したということであった

### ◎市単独事業

- 1 市立小中学校におけるオンライン教育等の提供 891万2千円

オンライン授業のための15分単位の教材を作成している。先生方の負担を軽減するために全市の学校が担当を決めて現在作成にかかっているとのことであった。

- 2 うべコロナニュースの発行 330万円

月3回発行、2万部を作成していく。現在まで2号発行している広報車でのPRも考えていくとのことであった。

- 3 発熱外来の設置 3000万円

今後の新型コロナウイルス感染拡大の事態の推移により休日夜間救急診療所に発熱外来を設置していくとのことで、予約制を考えていくとのことであった。

- 4 市立図書館におけるドライブスルー貸出の実施 98万3千円

市立図書館については、本の貸出を中止していたが、今後ドライブスルーによって貸出をするということであった。

- 5 市立小中学校給食費の無償化 2億2804万9千円

公立小中学校の全児童・生徒を対象に令和2年5月7日から8月31日の間

(従来の夏休み期間中に授業をすることがある)の給食費を無償にするとのことであった。

6 小売・飲食店等持続化支援(事務費含む) 4億5150万円

中小の小売業者、飲食サービス業者、生活関連サービス業者を対象に令和2年4月の売上が前年同月比2割以上減少した事業者で、支援金給付後、最低3か月以上事業継続することを条件に1事業所に15万円(最大1事業者30万円)支給するもので、3000事業所を見込んで予算化をしている。また、今年の3月に開店をした店であっても、コロナの影響を受けていれば対象とする。5月7日申請受付、1週間で交付するということであった。

7 うべ飲食店テイクアウト支援(PR及びタクシー配送) 950万円

テイクアウトをしている飲食店やしようとする飲食店を応援するためにプラットフォームによる情報発信、ポラロイド版の発行、ウェブサイトのリンクや、テイクアウト商品のタクシー配送などで飲食店を支援していくということであった。5月中旬からテイクアウト商品の掲載依頼を受ける。タクシー配送については、大口である企業の発注を受けることから始めたいが、詳細については、今から詰めていくとのことであった。

8 私立保育園に対する休園に伴う副食費補償 203万4千円

3歳から5歳児を預かっている私立保育所23園の休園に伴う副食費の実費負担分を補償するもの。小規模保育事業所、企業主導型保育所や認可外保育所は対象外ということであった。

以上、概要であるが、コロナ対策のための初めての補正予算であり、まだまだ不十分であるとのことではあるが、早急な対策が必要であるということから全会一致の賛成で可決しました。